

令和3年度 日本大学藤沢小学校 自己評価票

【本校の目指す学校像】

本校の教育活動の中で、豊かな知識（学力）、あきらめない心（気力）、頑張れる体力を児童に身につけさせ、何事もくじけることなく、力強く、今後益々複雑化するグローバルな社会で自分の考えをもって歩み続けることができる、生きる力(自主性と創造性)を持った心豊かな人間を育てることを目指す。

【本校の特長及び課題】

学習の中では、土台となる国語、算数、体育に力を入れ、基礎学力、基礎体力の育成を行う。宿泊行事（防災訓練1泊、林間学校2泊3日、スキー3泊4日）の実施や、交通安全教室・防火防犯教室等の講演会により、生活習慣の確立と物事に対するやり抜く気力、児童相互の協力や思いやりの気持ち、自らを守ることへの意識を育てていく。

今後の課題は、児童の「学力と体力の向上」、「自他の尊重の意識や他者への思いやりなどの涵養」を踏まえた、6年間の安定した教育内容を作り上げることにある。

令和3年度の取組結果

【概況】

行事としては、中学校や高等学校、大学の施設を使つての縦割りの遠足、運動会や文化祭は、工夫をしながら実施することができた。しかし、宿泊行事、海外研修などは実施ができなかった。新型コロナウイルスの感染が広がった2学期始めは、オンデマンドによる授業の配信、分散登校、分散授業を行い、感染防止に配慮しながら例年どおりの授業計画で進めることができた。上級生が下級生の面倒を見る取組も増え、校内だけでなく、登下校中でも上級生が低学年と関わりを持っていたり、面倒を見ていたりする姿が見られた。また、委員会活動などにより、学校と児童が協力して取り組むことも増えた。

学習については、児童の学習に対する興味付けをしっかりと行い、発達段階ごとに視野を広げ、自分で学ぶ姿勢が身につくように、工夫に努めている。また、学力差が出てきている教科があるため、担当者が昼休みや放課後に個人的に教えたりしながら、底上げの工夫も行っている。身の回りのものについては整理整頓を意識させるなど、計画的に自分で考えて行動できる姿勢を育てている。健康面においては、体調管理を意識して過ごすことにより、日頃休む児童は減少した。

教育活動

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
基礎学力の育成	まずは基礎・基本をしっかりと理解させるように取り組んだ。家庭学習の習慣化ができるように、宿題などを適宜児童に渡し、また、外部実力テスト9月、2月、算数検定と漢字検定を10月に実施する計画も含めて、目標を持たせた上で達成感を感じられるようにしている。 自ら学べる意識づくりを工夫しながら学習指導を行い、教員が授業時間の確保に努めるとともに、学習が遅れ気味の児童には昼と放課後に個別指導を実施している。6年生は6月から特別授業を実施した。	A
気力・体力の育成	学校行事については、制限のある中ではあったが、できる限り工夫をしながら、児童に経験と思い出を残すことを考えて実施した。行った行事は、春の遠足、運動会、文化祭（体育の演技発表・音楽発表・図工作品の展示）、なわとび検定記録会、書初め会等である。縦割りで活動をしたり、自己の記録更新を目指したり、最後まで粘り強く取り組む姿勢や、心身共に成長できるように考えて取り組んだ。	B

	<p>※秋の遠足(ハイキングなど)は雨天中止, また, 持久走記録会を行う予定だったが, 新型コロナウイルス感染防止の観点から, なわとび検定記録会に変更。</p> <p>宿泊行事: 2年 防災訓練6月(学校1泊), 3~5学年 林間学校7月(谷川岳2泊3日), 希望者対象スキー教室12月(菅平3泊4日), 6年九州修学旅行(2泊3日)を実施する予定だったが, 新型コロナウイルスによって中止。</p>	
授業の改善に向けた取組	<p>教員間で適宜授業を見合えるようにして, 行われた授業についての情報交換ができるようにしている。また, 管理職も授業を適宜観察している。</p> <p>教科主任と担当教員で授業の内容や進捗について打合せを行い, 振り返りを行っている。保護者への授業公開は新型コロナウイルスのため中止。</p>	A

学校生活への配慮

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
良い人間関係の確立	<p>各学期の終業式において, 児童それぞれが活躍した取組を紹介し表彰した。また, 委員会活動の取組として, 『チクチク言葉・フワフワ言葉を考える』取組を行った。学校で生活する上で, お互いが楽しく過ごせるように, お互いを尊重する態度を育むよう努めた。児童の取り組みである挨拶週間と例年行っていた保護者向けのSNSについての研修会は新型コロナウイルスのため実施を見送った。</p>	A
清潔な環境の整備	<p>校舎内外の清掃を児童と教職員が共に行った。また, 清掃業者が毎日清掃業務に入っている。</p> <p>1学期の低学年の教室掃除は高学年児童が手伝い, やり方を教えた。</p>	A
いじめ防止のための取組	<p>いじめを早期に発見するためのアンケートを年2回実施し, 悩みを持っている児童や気になる児童に対して声掛けを行い, 嫌な思いをせずに学校生活を送れるように対応をした。相手を傷つける, 嫌な思いをさせる言葉はどのようなものかを日ごろから児童に意識させている。</p> <p>教職員を対象に, 8月にいじめについて考える研修会を実施した。なお, いじめ防止基本方針を作成しホームページに掲載している。</p>	A

課外活動

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
異なる学年間の交流	<p>1年生を迎える会, 春の縦割り遠足, 文化祭の作品鑑賞時, また, 6年生を送る取組においても, それぞれの学年が担う役割を理解して縦割りで活動した。</p> <p>行事を通して上級生が下級生の面倒を見ながら(下級生に配慮しながら), 一緒に班で行動する取組を行っている。教員と児童が共に学習や運動を行う「遊学タイム」を放課後16時まで実施する予定だったが, 新型コロナウイルスのため中止した。</p>	A
学習のサポート	<p>理解の遅い児童に対しては, 教科担当者が声掛けをして, プリントなども適宜渡し, 朝の時間や昼, 放課後(短時間)に分からなかったところの指導を行った。</p> <p>また, 農場での学習(実習)では大学生による指導サポートを行ってもらうことができた。なお, 16時まで算数教室で行っている「何でも質問コーナー」と生物資源科学部の学生に協力してもらっている学習サポートは感染防止のため中止。</p>	B

進路指導

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
将来への夢を形成する	藤沢中学校への進路希望調査を4年1月、5年1月、6年9月に行い、児童の進路について計画的に御家庭に考えてもらっている。藤沢中学校には進学説明会を実施してもらい、また、生物資源科学部や外部講師による特別授業を行い、様々な職業について興味付けを行った。	A
日本大学藤沢中学校への進学者数増加に向けた取組	藤沢中学校や高等学校、生物資源科学部の施設を利用し、遠足や学級活動を行っている。また、学部の教員による特別授業を実施し、違った目線で教科に興味を持ってもらえるように働きかけている。日本大学の魅力を伝え、帰属意識も高めている。	A

保健衛生

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
健康な生活	毎日「健康観察の記録」に体温・かぜ症状の有無の記録を保護者に依頼し、児童の健康観察を行った。また、「ほけんだより」を配布して適宜必要な情報や注意喚起を行った。保健委員がお昼の放送で感染症予防行動についての声掛けを行った。健康診断や色覚検査を行った。持久走は昨年度に引き続いて中止のため、持久走検診は行わなかった。	A
安全の確保	昼休みの児童が校舎外に出る時間帯は、教員が常に見守るように努めた。校舎内では出合い頭の事故が起きないように、日頃から走らないように声掛けを行い、廊下中央にテープを貼って歩く方向を一方通行にした。保健委員会と環境委員会が合同で学校において怪我が多い場所とその怪我の種類をポスターにして掲示した。教職員を対象に緊急時に備えて心肺蘇生法・エピペン講習をオンデマンドで開催した。AEDの設置場所を見直した。避難訓練を企画・実施した。また、学期始めには教員が児童の下校(最寄り駅まで)の様子を見守り、安全の確保に努めている。	A

図書

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
読書量の増加	充実した調べ学習が行えるよう、中高や市の図書館から図書を借りられるように整えている。1、2年の国語の授業を週1時間、図書室で読書の時間として実施した。また、定期的に「図書室だより」を配布し、読書に対しての意識付けを行った。長期休暇に入る前に、推薦図書を児童に案内した。さらに、最大5冊まで借りられるようにした。読書記録を用意し、自身の成長も感じられるようにした。コロナの感染予防対策として、手指消毒や換気の徹底を始め、パーテーション設置や密を回避する工夫を行った。	A

広報

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
募集活動	学校説明会や授業見学会・保護者による講演会を実施した他、放課後の学校見学会、オープンスクールを新設し、本校の魅力を伝えるよう努めた。	A

広報活動	「学校案内」の内容を拡充し、ホームページなどで本校の良さや様子を分かりやすく掲載した。ホームページの記事の更新頻度を高めるとともに、写真を多く掲載し、学校の様子がより具体的に伝わるよう工夫した。新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、オンラインによる学校説明会も実施した他、少人数での学校見学・個別相談会を行い、学校の方針や魅力について説明した。	A
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---

管理運営

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
定期的な会議の実施	教務部会、生活指導部会、広報部会、児童会、教職員会議を定期的実施した。情報の共有に努めるとともに、共通認識で何事にも取り組むように努めた。	A

※【A達成できた、B大体達成できた、Cあまり達成できなかった、D達成できなかった】

令和4年度の取組目標及び方策

教育活動

取組目標	取組方策	取組スケジュール
基礎学力の育成	各教科においては、目標設定をして意欲的に学習ができるようにしており、外部実力テスト、算数検定、漢字検定、英語検定を受験して、実力を把握している。教科担当が授業の始まりと終わりをしっかりと意識し、各教科の授業時間を確保している。学習が遅れ気味の児童には昼休みや放課後に個別指導を行い、遅れが広がらないようにする。	定期考査実施（年5回） 実力テスト9月と2月 四谷大塚模擬テスト（6年生） 7月と10月 算数検定・漢字検定10月 英語検定1月
気力・体力の育成	宿泊行事：3年防災訓練（学校1泊）、縦割り遠足、3年生から5年生林間学校（谷川岳2泊3日）、希望者スキー教室（菅平3泊4日）を実施し、集団生活における協調性や相手を思いやる気持ちの育成、体力増進を図る。 持久力を測る行事を行い、諦めない気持ちも育成する。	縦割り遠足 4月 運動会 5月 スキー教室 12月 持久走など 2月
授業の改善に向けた取組	教員が相互に授業を見る。 中高の教員との意見交換会を行う。 適宜、管理職が授業を見て、教員と授業について意見交換を行う。 さらに、外部の研修会に参加を促し、教員各自のスキルアップができるようする。	8月 小学校連合研修会

学校生活への配慮

取組目標	取組方策	取組スケジュール
良い人間関係の確立	フワク言葉など、言葉について考えることについては、引き続き取り組む。様々な行事で発表や表彰をするなど、個々の児童が活躍できる場面を作ることを心掛ける。 また、情報モラル教育を実施する。	命の大切さについての講演会 5月 情報モラル教室 6月 ことばについて考える 6月
清潔な環境の整備	児童の机の中、ロッカーの中、下駄箱などを適宜整理	清掃については、毎日。

	する。校舎内外の清掃を児童と教職員が共に行う。中庭や校庭の草むしりや石拾いも協力して適宜行う。	
いじめ防止のための取組	いじめの早期発見や、学級の状況、児童間の人間関係等を把握するために、『子どもの社会的スキル横浜プログラム（Y-P）』を行う。また、いじめ防止の教員研修を実施する。	子どもの社会的スキル横浜プログラム（2回） 教員研修 8月

課外活動

取組目標	取組方策	取組スケジュール
異なる学年間の交流	児童会を中心に運動会や縦割り遠足、林間学校、スキー教室などの行事や縦割り交流会で、児童間の交流ができるように企画をする。また、縦割りでの掃除も計画している。 委員会活動を通して、よりよい学校を目指して自発的姿勢で取り組む。またその内容を、上級生が下級生に連絡を行う。 クラブ活動においても共通の興味をもつ異学年の児童で集まり、交流を図る。 放課後に行う学習や運動の時間としての「遊学タイム」は、児童同士の交流だけではなく、教員との関係づくりにも有益な取り組みであるため今後も継続していく。	4月 縦割り遠足 1年生を迎える会 5月 運動会 7月 林間学校 11月 文化祭 12月 スキー教室 2月 持久走記録会 3月 6年生を送る会
学習をサポート	教科担当者が学習の遅れの目立つ児童に対して適宜サポートをする体制を継続する。 また、生物資源科学部生による学習サポートも継続して行う。	

進路指導

取組目標	取組方策	取組スケジュール
将来の夢の形成	学活の授業において、今興味があることや将来やってみたい事について考えてもらう。また、博物館見学など、大学の施設も含め色々なところの見学を通し、将来について少しずつ考えてもらう。 各学年で特別授業を実施し、児童に興味の幅を広げてもらう。	
日本大学への進学者数増加に向けた取組	中学の行事や授業に参加することで、中学生が充実した学校生活や勉強、クラブ活動に取り組んでいることを知ってもらう。 生物資源科学部の教員による特別授業を実施する。また、日本大学藤沢中学校の進路説明会を実施する。	

保健衛生

取組目標	取組方策	取組スケジュール
健康な生活を促す	健康診断，色覚検査（小1希望者），身体測定の実施，「ほけんだより」を適宜発行する。	4月 健康診断 9月 身体測定 10月 色覚検査（小1希望者）

図書

取組目標	取組方策	取組スケジュール
読書量を増やす	1，2年の国語授業のうち週1時間を図書室で実施。本の魅力が伝わるように「図書だより」などを適宜発行する。 調べ学習を行う時は，本校の書籍だけでなく，色々な機関から資料を集められるようにする。 各教科と連携をとり，授業でも図書室の利用を推進する。 委員会活動を通して，児童主体で図書室からの発信を行う。	

広報

取組目標	取組方策	取組スケジュール
募集活動	学校説明会，個別相談会，授業見学会，入試報告会を実施し，本校の魅力について伝える。幼児が本校に来校する機会を設け魅力を伝えるため，オープンスクールも実施する。 ホームページの情報（お知らせ）も本校の理解を深めてもらえるように毎月更新していく。 小学校連合主催の説明会や幼児教室主催の説明会などにも積極的に参加する。 また，幼児教室主催の受験報告会などにも参加し，年度ごとの受験傾向を把握する。	4月・5月，6月，7月，8月，9月，1月・2月
広報活動	本校に対する理解を深めてもらうために，幼児教室の訪問をはじめ，幼児教室担当者対象説明会を開催する。 また，共働き家庭を含め多くの家庭に選ばれる学校であるために，アフタースクールなども充実させる。 説明会などにも動画を用いて，本校の魅力を分かりやすく伝える。	

管理運営

取組目標	取組方策	取組スケジュール
定期的な会議実施	教職員会議，教務部会，生活指導部会，広報部会，児童会など分掌や委員会の会議を定期的実施する。	教職員会議 月2回 各部署会議 適宜
体育館，PC教室のパソコンの買い替	マルチメディアシステムの設置や，机・椅子など，学	

え・校庭・グラウンドの整備	<p>習環境の整備を行う。</p> <p>来年度サポートが切れてしまうPC教室のパソコンの買い替え、グラウンドなどの学校生活環境を整備する。</p> <p>体育館のWi-Fiや暖房設備についても、整備する。</p>	
---------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

中長期的目標及び方策

教育活動

取組目標	取組方策	取組スケジュール
基礎学力の育成	<p>外部実力テストの実施(育伸社, 四谷大塚など)</p> <p>算数検定, 漢字検定</p> <p>ICTを活用した授業の実施</p>	
英語力の向上	<p>オールイングリッシュ授業の実施</p> <p>海外語学研修, 英語検定, 国内語学研修の実施。</p>	<p>英語検定: 1月</p> <p>国内語学研修: 8月</p>
藤沢高等学校・中学との連携教育	<p>実習や授業, 行事での交流を通して藤沢高等学校・中学校の魅力を伝えていく。</p>	

管理運営

取組目標	取組方策	取組スケジュール
教員組織構成の適正化	<p>専任教員の年齢構成バランスを考慮し, 中・長期的な視点で採用していく。</p>	
施設設備の整備	<p>校内での共通Wi-Fi環境整備</p> <p>体育館の冷暖房整備</p> <p>コンピュータ室のスクリーンプロジェクター整備。</p> <p>校庭等の環境整備など。</p>	